

SHO-BOND

予防保全・長寿命化対策工法

はく落防止対策後に劣化進行を
目視観察できる補修工法

SHO-BOND

クリアクロス工法

国土交通省新技術情報提供システム(NETIS)登録 KT-110052-VR



■補修工学—— 構造物の総合メンテナンス企業

ショーボンド建設株式会社

クリアクロス工法

接着剤の含浸により透明になる特殊ビニロンクロス(クリアクロス)を、透明の接着剤でコンクリートに貼り付けるはく落防止工法です。

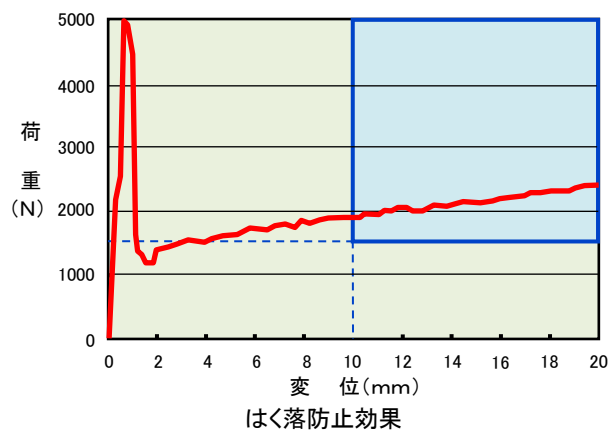
- はく落防止：コンクリートのはく落防止工法です。
- 可視化：施工後に変状が目視確認できます。



特 徴

1. はく落防止効果

クリアクロス工法は、優れたはく落防止性能を有し、耐久性、耐候性にも優れています。
(押し抜き試験において、変位10mm以上における最大荷重が1.5kN以上であること。)



2. 変状目視効果

使用する接着剤・クリアクロス・上塗り塗料は、施工後には透明になるため、コンクリートに発生した変状を目視確認できます。

※色調の変化について

樹脂の特性により、経年とともに黄色く変色する場合がありますが、下地の視認性は保持しています。写真(右)をご参照ください。



施工直後



促進耐候性試験
3500時間

施 工 手 順

1 下地処理



5 クリアクロスの貼り付け(含浸作業)



2 プライマー塗布



6 上塗り塗装材塗布



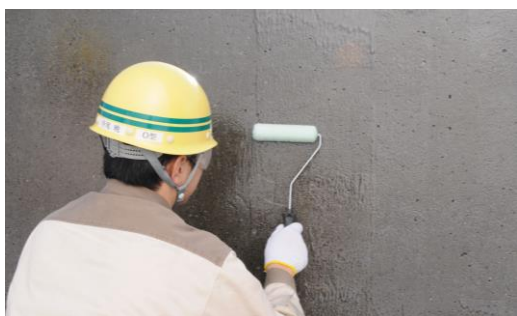
3 パテ処理



7 完 成



4 含浸接着剤塗布



* 折れ曲がりの大きい箇所(ハンチ部など)では、不陸調整(パテ工)が必要になる場合があります。

標準仕様

(100m²あたり)

工程	使用材料	単位	使用量	備考
プライマー工	ショーボンドクリアクロスプライマー	kg	15.0	
パテ工	ショーボンドクリアクロスパテ	kg	20.0	
含浸接着剤塗布工	ショーボンドPVM	kg	40.0	
特殊ビニロンクロス貼付工	クリアクロス	m ²	100.0	幅 1,030mm
含浸接着剤塗布工	ショーボンドPVM	kg	20.0	
上塗り工 (1層目)	ショーボンドPVMクリアトップ	kg	12.0	
上塗り工 (2層目)	ショーボンドPVMクリアトップ	kg	12.0	

*ロス等は含んでいません。

使用材料の品質規格 (下記材料は、ショーボンドマテリアル㈱の製品です。)

●ショーボンドクリアクロスプライマー

試験項目	試験方法	試験条件	単位	規格値
粘度	JIS K 6833	20℃	mPa·s	1000以下
付着強さ	JIS K 6909	20℃、7日間	N/mm ²	1.5以上

●ショーボンドクリアクロスパテ

試験項目	試験方法	試験条件	単位	規格値
比重	JIS K 7112	20℃、7日間	—	1.45±0.10
可使時間	温度上昇法	20℃	時間	0.5以上
付着強さ	JIS K 6909	20℃、7日間	N/mm ²	1.5以上

●ショーボンドPVM

試験項目	試験方法	試験条件	単位	規格値
比重	JIS K 7112	20℃、7日間	—	1.00~1.30
可使時間	温度上昇法	夏型 20℃ 冬型 5℃	時間	0.5以上
曲げ強さ	JIS K 7203	20℃、7日間	N/mm ²	40以上
引張強度	JIS K 7113	20℃、7日間	N/mm ²	30以上
引張せん断接着強さ	JIS K 6850	20℃、7日間	N/mm ²	10以上

●クリアクロス(定尺幅:1,030mm)

試験項目	試験方法	試験条件	単位	規格値
密度	JIS R 3420	20℃	本/m	(タテ)14±1/(ヨコ)14±1
質量	JIS R 3420	20℃	g/m ²	150±8
引張強度	JIS R 3420	20℃	N/25mm	(タテ)900以上/(ヨコ)900以上

●ショーボンドPVMクリアトップ

試験項目	試験方法	試験条件	単位	規格値
容器の中の状態	JIS K 5600	23℃	—	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様であること
塗膜の外観	JIS K 5600	23℃	—	塗膜の外観が正常であること
塗料中の加熱残分	JIS K 5601	105℃、1時間	%	33~39

■販売元

ショーボンド建設株式会社

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 7-8 TEL.03(6861)8101(代表)

<http://www.sho-bond.co.jp>

★品質改良のため、製品規格の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

●取扱い営業所